

# 「新高値ブレイク投資塾」事例報告シート

お名前

塾生F

銘柄コード	9229	銘柄名	サンウェルズ		
買付日	22/8/8、22/8/15、22/10/26、23/2/1				
売却日	22/12/9、23/4/20、23/4/24、23/7/20、23/8/3				
利益or損失	利益	損益率	+91%~+100%(株価2倍)	損益額(万円)	
<b>売買の補足説明</b>					
<p>去年のLeader's Meeting発表銘柄 明快で将来的増収増益の確度が高いビジネスモデル、すでにアンビスという成功した事例がある、当時の状況下で為替も関係ない内需銘柄という安定性が主な購入要因。 当時は16000円目標でまずは9000円を目指す(分割前)と当時資料に記載。 結果現時点で最高値3880(分割前11640)、現在2748(分割前8244)</p> <p>まず大きく分けて初めての決算前、決算直後、最初に押して反発したタイミングで大きくロットを投入、チャートは基本的に右肩上がりで、3000円(分割前9000円)までは上昇することを確信していたので、そこまでは売るつもりなく持ち続けた 前四半期決算のタイミングで新しい事業計画が出てこないこと、再評価した目標株価を4000台にしたこともあって、決算前の3200-3500で1/3利確 その後残り決算を過ぎ、日本株の上昇に従ってさらに高値をつけましたが、その後チャートが完全に崩れてしまい、イクジットを余儀なくされた</p> <p>初期ロット投入価格が1200円くらいだったので、利確した最高値だと3倍近くとなり、平均して2倍くらいの利益を得た1年以上にわたるトレードだった</p>					
<b>成功したと思う点</b>					
<p>ロットを入れるタイミングで十分な量を投入できたこと 価格が十分上昇するまで、確固たる自分なりのロジックを持って長期間保有できて利益を伸ばせたこと</p> <p>この銘柄はそれなりに知られていましたが周りや知っている億り人の皆さんもあまり保有していなくて、結構PERが高いとかいろいろノイズも多かった銘柄でしたが、それらに惑わされることなく、自分の見解をしっかりと信じて大きな利益をとることができたので、自信につながった</p>					
<b>失敗したと思う点</b>					
<p>イクジットは完全に失敗したと考えている 5月後半から6月にかけての上昇相場にあわせてこの銘柄も大きく値を伸ばしたところが利確のポイントだった 普段ならこのタイミングを逃さないが、このときはここから一気に相場が好転するイメージを持ってしまった このため、売るべきタイミングを耐えてしまい、さらに下落していく中、イクジットを躊躇してしまった 結果1Q決算前に売ったタイミングより安い価格で売られることになり、大きな遺恨を自分の中に作ってしまった</p> <p>相場如何にかかわらず、利確のタイミングは基本的に変わることなく、フラットなマインドセットで臨まなくてはいけないという初歩の初歩を今更ながら思い知らされた。</p>					
<b>フリーコメント</b>					
<p>1年前にLeader's Meetingで発表してこのような相場の中1年以上保有できた稀有な銘柄で、累積利益1億達成にも貢献してくれた思い出深い銘柄。最後は非常に残念だったが、次は決して失敗しないようにしたいと思う。</p>					